

株式会社 日立製作所  
Hitachi, Ltd.

## Hitachi Virtual Storage Platform One Block 26



### 算定単位

販売単位 (台あたり)

### 算定対象段階

最終財  中間財

①原材料調達 ②生産 ③流通 ④使用・維持 ⑤廃棄・リサイクル

### 製品の型式、主要仕様・諸元

フラッシュアレイ

-コントローラシャーシ 最大 1台

キャッシュ容量：768 GiB

HT-40SP-MNDNNA(60TB NVMe SSDドライブ24台搭載可)

-ドライブボックス 最大 2台

HT-F40SP-DBN2E(60TB NVMe SSDドライブ24台搭載可)

-想定使用年数 5年

※製品の改良により予告なく記載されている仕様が変更になる  
ことがあります。

登録番号	JR-BF-24012E
適用PCR番号	PA-520000-BF-04
PCR名	IT機器
公開日	2025年3月12日
検証合格日	2025年3月1日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-BF-24012
検証有効期間	2030年2月28日

### PCRレビューの実施

認定日等	2023年 8月 15日
委員長	山岸 健 (一般社団法人サステナブル経営推進機構)

### 第三者検証者\*

外部検証員 阪元 勇輝

ISO14025に従った本宣言及びデータの独立した検証

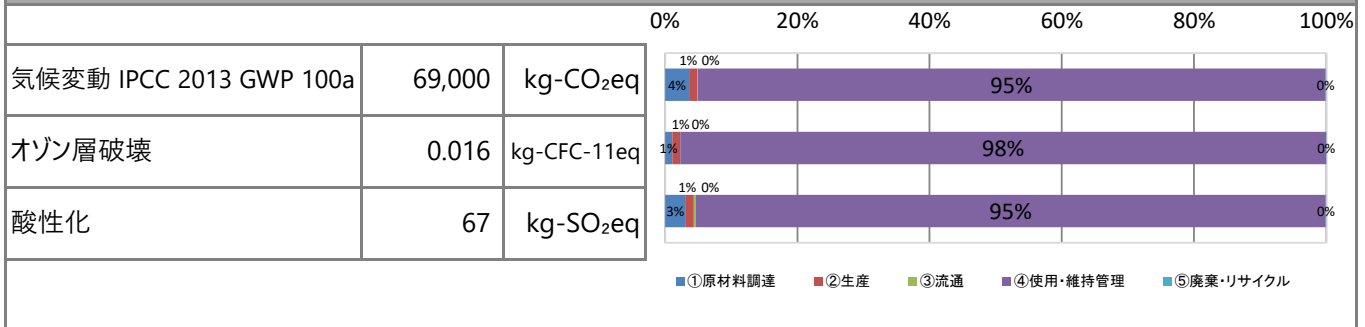
内部  外部

\*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の  
名前を記載。

### 問い合わせ先

株式会社 日立製作所  
03-5471-2745

### ①ライフサイクル影響評価結果



内訳	項目	単位	合計	①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
	気候変動	kg-CO <sub>2</sub> eq	6.9E+04	2.5E+03	8.2E+02	5.4E+01	6.5E+04	9.4E+01
	オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-02	1.7E-04	2.0E-04	7.2E-10	1.6E-02	2.8E-06
	酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq	6.7E+01	2.1E+00	8.1E-01	1.8E-01	6.4E+01	5.3E-02
	都市域大気汚染	kg-SO <sub>2</sub> eq	5.1E+01	1.5E+00	6.1E-01	6.7E-02	4.9E+01	3.2E-02
	光化学オキシダント	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	1.3E+00	3.8E-02	1.6E-02	3.8E-04	1.3E+00	3.5E-04
	有害化学物質(発がん性)	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	4.4E+00	2.8E+00	1.9E-02	2.7E-04	1.5E+00	5.9E-03
	有害化学物質(慢性)	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	2.2E-01	1.9E-02	2.4E-03	1.7E-04	1.9E-01	9.9E-05
	水生生態毒性	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	1.4E+02	8.5E+00	1.6E+00	8.6E-06	1.3E+02	2.4E-02
	陸生生態毒性	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	3.3E+03	1.9E+02	3.9E+01	1.4E-04	3.1E+03	5.4E-01
	富栄養化	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq	1.7E-02	1.3E-02	5.0E-05	5.5E-10	4.0E-03	3.4E-04
	土地利用(維持)	m <sup>2</sup> /年	3.9E+02	5.3E+01	4.1E+00	4.5E+00	3.2E+02	5.3E-01
	土地利用(改変)	m <sup>2</sup> /年	9.5E+00	3.4E-01	1.1E-01	9.0E-02	9.0E+00	1.1E-02
	資源消費	kg-Sbeq	7.4E-01	2.9E-01	5.6E-03	2.2E-04	4.4E-01	1.6E-04

### ②ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	1.3E+03 kg
非再生可能エネルギー	2.6E+04 kg
非再生可能エネルギー	1.1E+06 MJ
再生可能資源	3.6E+02 kg
再生可能エネルギー	4.3E+05 MJ
淡水の消費	4.8E+01 m <sup>3</sup>
排出, CO <sub>2</sub> (化石資源由来), 大気, 不特定	6.6E+04 kg
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	1.9E+03 kg
排出, 揮発性有機化合物, 大気, 不特定	1.6E-03 kg

### ③材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)	単位
ディスクアレイ装置 鉄	79 %
(ラック含む) その他金属	2 %
プラスチック	1 %
プリント基板	4 %
被覆銅線, モータ	4 %
電池	1 %
電源	4 %
SSD	5 %
合計	100 %

### ④廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	4.5E+02 kg
一般廃棄物 埋立物	1.0E-07 kg
産業廃棄物 埋立物	4.5E+02 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

## ⑤ 算定結果に関する追加情報

### 【対象製品】

- ・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform One Block 26
  - ・CO<sub>2</sub>eq排出量の算定条件  
コントローラシャーシ(HT-40SP-MNDNNA) 1台にNVMe SSDを最大数24台搭載、  
ドライブボックス(HT-F40SP-DBN2E) 2台にNVMe SSDを最大数48台搭載した構成で算定
  - ・使用したシナリオの製品種類名 ディスクアレイ(半導体ディスクドライブを搭載)
- <主な製品仕様>
- 記憶容量<sup>※1</sup> 4,320TB
  - 想定使用年数<sup>※2</sup> 5年
  - ドライブの種類 半導体ディスクドライブ(NVMe SSD)
  - ドライブインターフェースの種類 NVMe
  - ドライブ台数 72台
- ・測定条件：使用時電力は、認定PCR(PA-520000-BF-04)で定めた測定方法により測定しております。

※1 本容量は1TB=1,000,000,000,000Byteとして計算した値です。

※2 想定使用年数は、法定耐用年数（電子計算機 その他のもの 5年）として計算しています。

## ⑥-1.その他の環境関連情報

- ・使用・維持管理段階における温室効果ガス排出量が最も多くライフサイクル全体の約95%を占めており、使用時の消費電力の影響が大きいため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります。
- ・EPD算定にあたり、原料使用量は当社データを利用していますが、数千点におよぶ部品の製造時データを収集することは困難なため、一般的な原料製造時のデータを利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。
- ・ISO14001:2015認証取得工場で生産・組立しています。
- ・米国EPA EnergyStar認証を取得しています。
- ・欧州RoHS指令に準拠しています。
- ・環境配慮したグリーン調達ガイドラインを制定し、調達パートナーと共にグリーン調達に取り組んでいます。

## ⑦ 使用した二次データの考え方

IDEA ver.3.1.0を優先して利用しつつ、登録原単位 v1.15で補完した。

## ⑧ 備考

—

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。  
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)